

A 表

(裏面)

北海道稚内高等学校	定時制課程	学科	普通科
-----------	-------	----	-----

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年		2 年		3 年		4 年		計	
						定通併修		定通併修			4修制	3修制
商 業	ビジネス基礎	2~4	2								2	2
	課題研究	2~4							2		2	
	ビジネス法規	2~4						3				3
	簿記	2~4		3	6						3	6
	情報処理	2~4					2	2			2	2
各学科に共通する各教科・科目の計			16	15	20	16	24		16		63	60
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			2	3	6	2	5		2		9	13
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0	0	0		0		0	0
総合的な探究の時間 (総合的な探究の時間)			3~6	1	1	1	1	1	1	1	4	3
合 計			19	19	27	19	30		19		76	76
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	1	1	4	3
教育課程に係るその他の事項												
卒業までに修得させる単位数			76 単位				卒業に必要な履修と修得の単位数			○ 1 分離している 2 分離していない		
学期の区分			○ 1 3学期制 2 2学期制				学期の区分ごとの単位修得の認定			○ 1 実施している 2 実施していない		
1 単位時間の弾力化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を(45)分×(4)時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他()									
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している (④・⑤・⑥・⑧) 2 実施していない									
総合的な探究の時間の実施方法			1 週時程に位置付けて実施する。 ○ 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。									
備 考			○ 政治・経済、地学基礎、簿記、文学国語、数学A、論理・表現Ⅰ、ビジネス法規は、学校間併修により単位認定を行う。									

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。